

2009年度聖和短期大学自己点検・評価における「目標」「指標」一覧

<聖和短期大学>

* 目標・指標は大項目(中項目がある場合は中項目)ごとに設定しています。小項目ごとに設定していません。

評価項目(*印は、本学独自項目)			聖和短期大学	
大項目	中項目	小項目	目標	指標
0	建学の精神・教育理念・教育目的・教育目標	0.1.1 建学の精神・教育理念が確立していること	1. 建学の精神および教育理念を関西学院のミッションステートメントのなかで再確認し、記載方法、内容を再検討し、本学の教育・研究等あらゆる活動の指標とする。	1. 建学の精神、教育理念の記載方法および内容の再検討の進捗状況。
		0.1.2 教育目的・教育目標が明確であり点検の努力がみられること	2. 学生、教職員対象のオリエンテーション、学校礼拝、研修プログラム等とおして、本学のミッション、建学の精神、歴史を学内で共有する。また大学案内パンフレット、教育懇談会、実習協議会、入試説明会等とおして、学外への周知を図る。	2. オリエンテーション、学校礼拝、研修プログラム、教育懇談会、実習協議会、入試説明会の実施状況。大学案内パンフレットの記載内容の検討の進捗状況。
		0.1.3 教育目的・教育目標が共通に理解される努力がみられること	建学の精神： 関西学院の建学の精神であるキリスト教主義に基づき、聖和短期大学は、神が私たち一人ひとりを愛してくださっていることを知り、イエス・キリストが示された生き方にならって、他者一特に幼い者や社会的に弱き者たち一人ひとりに仕える働き人を養成するために建てられている。 教育理念： ここに集う一人ひとりの全人的で調和のとれた成熟のために、3つのH-Head：真理の探究、Heart：自分を愛し人を愛する心、Hand：奉仕と実践-を大切にす。	
1	教育の内容	1.0.1 教育課程が体系的に編成されていること	1. 教育目標にもとづいた教育課程編成の方針の明示。	1. 教育課程編成の方針の明文化、「要覧」「履修の手引き」への記載、履修指導の説明の時間等の充実
		1.0.2 教育課程が学生の多様なニーズに応えるものとなっていること	2. 実践力を培うために保育現場と連携した授業実施。	2. 保育現場と連携した授業内容の検討及び実施状況。
		1.0.3 授業内容、教育方法及び評価方法が学生に明らかにされていること	3. 保育職の専門性向上のため、旧教員・卒業生などの積極的活用。	3. 旧教職員・卒業生などとの連携状況。
		1.0.4 授業内容、教育方法に改善への努力がみられること	4. シラバスの記載内容の充実、不完全シラバスをなくす。	4. 不完全シラバス数、シラバス記載内容の変更。
2	教育の実施体制	2.0.1 教員組織等が整備されていること	1. 教育実績、研究業績、社会的活動等短期大学教員として必要な資質の向上	1. 研究活動、社会的活動に関する報告書提出の徹底および情報公開の実施
		2.0.2 教育環境が整備・活用されていること	2. F D検討会の活性化、学外研修などの活用により、現状以上に授業を改善する	2. F D検討会の内容、方法の再検討、全国保育士養成協議会主催のセミナーおよび研究大会への積極的な参加、研究発表など
		2.0.3 図書館もしくは学習資源センター等が整備されていること	3. 学生の図書館活用能力を向上させ、短期大学図書館の入館者数、貸出冊数を1.5倍にする	3. オリエンテーションの実施状況およびアンケート調査結果、入館者数、貸出冊数、ホームページ、OPAC、電子ジャーナルへのアクセス数等
3	教育目標の達成度と教育の効果	3.0.1 教育目標の達成への努力がみられること	1. 学生による授業評価アンケートの内容を再検討し、授業評価方法の改善を行う	1. 全授業科目の授業評価アンケートの実施、内容の検討状況
		3.0.2 学生の卒業後評価への取り組みの努力がみられること	2. 免許・資格を取得するための個別的な指導と支援を強化し、実績を維持する	2. 希望者の免許・資格取得の割合、ガイダンスの実施（回数及び参加者数）
			3. 卒業生に対する就職先からの評価方法の検討および実施	3. 評価方法の検討と進捗状況
4	学生支援	4.0.1 入学に関する支援が行われていること	1. 受験生が理解しやすく魅力を感じる大学案内パンフレット、ホームページ等、広報の検討	1. 大学案内パンフレット、ホームページの作成に在学生や卒業生の意見、アイデアを取り入れる。
		4.0.2 学習支援が組織的に行われていること	2. 入学までの情報提供および入学前教育の充実	2. 入学予定者対象パンフレットの再検討、ピアノの実技能力向上のためのプログラムの検討
		4.0.3 学生生活支援体制が整備されていること	3. アンケート調査などによる学生生活の現状把握	3. 在学生を対象として学生生活全般に対するアンケート調査の実施および課題の分析の進捗状況
		4.0.4 進路支援が行われていること	4. 進路選択時の情報提供を徹底し、アドバイザー制度の活用を推進する	4. 「進路希望調査カード」の再検討の進捗状況、アドバイザーへの相談および指導内容の分析
		4.0.5 多様な学生に対する特別な支援が行われていること		
5	研究	5.0.1 教員の研究活動が展開されていること	1. 学内研究会の設立および研究会活動の推進	1. 研究会の設置状況、研究会規約等の制定状況、研究会実施状況
		5.0.2 研究活動の活性化のための条件整備が行われていること	2. 研究紀要の発行（年一回発行）	2. 研究紀要の発行状況、発行回数
			3. 科研費等による研究の奨励	3. 科研費等による研究への応募および採択状況
6	社会的活動	6.0.1 社会的活動への取り組みが推進されていること	1. 卒業生および保育者を対象としたSEIWAサマーセミナーの開催	1. サマーセミナーの実施状況
		6.0.2 学生の社会的活動を促進していること	2. 地域の子育て家庭を対象としたオープンセミナー聖和キャンパス講座（幼児教育大学）の開催（教育学部、聖和幼稚園との共催）	2. オープンセミナー実施状況
		6.0.3 国際交流・協力への取り組みの努力がみられること	3. 「関西学院子どもセンター」における発達支援事業、子ども子育て支援事業、おもちゃとえほんのへや事業の充実	3. 「関西学院子どもセンター」事業の活動状況、学生ボランティアの活動状況

2009年度聖和短期大学自己点検・評価における「目標」「指標」一覧

<聖和短期大学>

* 目標・指標は大項目(中項目がある場合は中項目)ごとに設定しています。小項目ごとには設定していません。

評価項目(*印は、本学独自項目)			聖和短期大学		
大項目	中項目	小項目	目標	指標	
7	管理運営	7.0.1	理事会等の学校法人の管理運営体制が確立していること	1. 学長、学生主任、教務主任の各業務内容の整理および専決事項の策定。	1. 学長、学生主任、教務主任の各業務内容の整理、専決事項の検討及び策定状況
		7.0.2	教授会等の短期大学の運営体制が確立していること	2. 短期大学事務室体制への移行に伴う業務の整理、事務体制の再整備。	2. 業務整理、体制の再整備の進捗状況、ミーティングの実施状況
		7.0.3	事務組織が整備されていること	3. 執行部と事務室の連携を促進、強化するための学長室会の定期的開催、教員と職員合同の研修会の開催。	3. 学長室会の開催状況、教員と職員合同の研修会の開催状況
		7.0.4	人事管理が適切に行われていること		
8	財務	8.0.1	財務運営が適切に行われていること	1. 法人全体として強固な財政基盤を確保するため、以下の目標を設定する。 ① 帰属収支差額比率：10.5% ② 純人件費比率：52.3% (過去5年間平均) ③ 総人件費比率：56.4% (過去5年間平均) ④ 教育研究経費比率：33%程度を維持 ⑤ 寄付金比率：3.0% (2007年度全国平均) を目指す	1. ①帰属収支差額比率、②純人件費比率、③総人件費比率、④教育研究経費比率、⑤寄付金比率
		8.0.2	財務体質が健全であること	2. 事業評価結果に基づく予算事前折衝を導入する。	2. 事業評価結果に基づく予算事前折衝の導入
		8.0.3	短期大学に必要な施設設備が整備され、その管理が適切に行われていること	3. 法人としての新基本構想のビジョン実現および資金の有効活用の視点から内部監査を実施し、業務および会計処理の改善を行う。	3. 内部監査の結果、指摘・提言に対する改善状況
9	改革・改善	9.0.1	自己点検・評価活動の実施体制が確立していること	1. 毎年の自己点検・評価の実施	1. 目標、指標の設定。毎年の自己点検・評価報告書の作成。2013年度の認証評価報告書作成。
		9.0.2	改革・改善のためのシステム構築への努力がみられること	2. 専門領域を同じくする松山東雲短期大学との相互評価の継続と結果の活用	2. 定期的な検討会の実施状況。検討の進捗状況。報告書作成。
		9.0.3	相互評価(独自に行う外部評価を含む。以下、評価の観点も同じ)への取り組みに努力していること		
10	*キリスト教主義教育	10.0.1	キリスト教主義教育を行うための組織・体制は適切か。	1. オリエンテーション、授業、学校礼拝、諸行事等によるキリスト教主義教育の実践	1. オリエンテーション、授業、学校礼拝、諸行事等の実施状況。
		10.0.2	キリスト教主義教育は、本学の使命・目的に照らして適切に行っているか。	2. 教職員に対する研修会の開催。学校礼拝、諸教行事などへの積極的な参加。	2. 研修会の実施状況、学校礼拝、諸行事への参加状況。
11	*人権教育・人権問題	11.0.1	人権教育は、本学の使命・目的に照らして適切に行っているか。	1. 人権に関するオリエンテーションおよびパンフレットの充実	1. オリエンテーションの実施状況およびパンフレットの検討の進捗状況。
		11.0.2	人権問題への対応を適切に行っているか。	2. 保育者としての人権意識を涵養するための教育の検討	2. 人権関連科目の履修状況、授業内容の検討状況。
				3. ハラスメントに関する相談ルートの整備および周知徹底。	3. ハラスメントに関する相談ルートの整備状況および学生への周知。
				4. 教職員の人権関連研修会への積極的参加	4. 研修会への参加状況
12	*ボランティア活動・教育	12.0.1	ボランティア活動の意義についてのしおりの作成と活用	1. しおりの内容の検討と作成。配付。	
			ボランティア活動実施のための情報提供、支援体制の整備	2. 学生のボランティア活動への参加状況、情報提供の件数。	
13	*国際交流	13.0.1	国際交流(国内外における教育研究交流)についての方針を明示しているか。	1. 短期大学における国際理解のための教育および国際交流に関する基本方針の明確化	1. 国際理解のための教育および国際交流に関する基本方針の策定(2010年度)
		13.0.2	国際交流(国内外における教育研究交流)を適切に行っているか。	2. グローバル化した阪神間の地域特性に合わせた国際感覚やコミュニケーション能力をもった保育者を育てるための教育の推進	2. 国際理解のための教育の実施状況、国際交流プログラムの参加状況
		13.0.3	国際教育・協力を適切に行っているか。		
14	*危機管理	14.0.1	短期大学が管理すべき危機の整理、検討および危機管理の基本方針、体制の確立	1. 危機管理基本方針の策定および実施マニュアルの作成の実施状況	
			全構成員の危機管理意識向上のための研修会および避難訓練等の開催	2. 研修会および避難訓練等の実施状況	